

# 代表質問から

## 総合計画

○ 県政世論調査における県政への要望との整合性をどのように図り、総合計画案を策定したのか。

○ 総合計画案の策定には、世論調査などを踏まえ、重点的に取り組む政策・施策を体系的に整理した。

具体的には、「高齢者福祉の充実」「医療サービス体制の整備」「災害対策」などに係る施策は、基本目標である「安全で豊かなくらしの実現」の中に、また、「子どもの育成支援の充実」に係る施策は、「千葉の未来を担う子ども

の育成」の中に位置付けた。「商工業の振興と中小企業への支援」「観光振興」などに係る施策は、「経済活性化と交流基盤の整備」の中に盛り込んだ。

○ 「へいし満足度日本」とは、具体的にどのような内容なのか。

また、その実現に向け、三年間の実施計画の中で何を重点的に取り組んでいくのか。

○ 県民の皆様が、日本で一番暮らしやすいと感じ、「千葉で生まれてよかった」「住んでよかった」「働けてよかった」と誇りに思える千葉県を実現していく。特に、「子育てを支える環境の充実」や、「社会の中で個性が輝く

「人間力」の醸成」など、子どもたちの育成に係る施策に力を入れていきたい。

また、「犯罪の起こりにくいまちづくりの推進」「光り輝く千葉の魅力発信」「千葉の飛躍拠点である成田国際空港の機能拡充」「東京湾アクアラインによるポテンシャルの開花」などの施策についても、重点的に取り組んでいく。

## 不正経理問題

○ 知事は、今後、一刻も早く県民の信頼を回復させ、職員の方頭に立つて引張って行く責任があると思うが、その決意はどうか。

○ 森田県政では、決して許さないし、決してやらせない」との強い信念で、再発防止に向けた職員の意識改革や内部牽制の強化に取り組み、実行してきた。今後も再発防止策を着実に実施し、県民の皆様の信頼を一日も早く回復させたい。

○ 新年度からは、前向きな県政に一生懸命取り組んでいく。

## 医療

○ これまで県が行ってきた医師確保対策の効果はどうだったか。

また今後、どのように医師確保を図っていくのか。

○ 平成十九年度から、研修医等への奨学金制度や県外から医師を招へいする市町村への補助制度を実施し、今年度までに奨学金で十八名、補助制度で八名の医師が、県内で勤務することになった。また、医学生向け奨学金の千葉大学

の学生十名分の貸付を開始した。今後は、研修医の奨学金及び市町村への補助制度の実施期間を延長し、大学院生対象の奨学金貸付の創設や医学生への奨学金貸付の拡大を図る。また、育児中の女性医師等が働きやすい職場環境づくりに取り組む医療機関への支援を行う。

## 福祉

○ 重症心身障害者とその家族が、安心して豊かに生活を送ることができるよう、県のリーダーシップが求められると思うがどうか。

○ 本県では、重症心身障害者施設の整備と充実を重要な課題として位置付けている。このため、東葛飾地域における重症心身障害児施設の整備について、支援を行っている。

また、平成二十二年度当初予算案に、重症心身障害者が短期入所できる施設の確保や、重症心身障害者通園事業の増設などを盛り込んだ。

## 産業振興

○ 厳しい経済状況の中、中小企業にとって資金繰りの円滑化が重要であるが、県としてどのような対応をするのか。

○ 金融機関、商工関係団体等に、県制度融資の活用や、中小企業への適切かつ円滑な資金供給に努めるよう要請するとともに、平成二十二年度当初予算では、過去最高の四千八百億円の融資枠を確保した。

また、県制度融資の返済期限の延長や借り換え制限の緩和措置について、検討をしている。

## 雇用

○ 新卒未就業者となった若者の就職支援の一環として、採用において来春卒業する新卒者と同等に取り扱うように県内企業に働きかけを行うべきと思うがどうか。

また、雇用創出のための基金事業を有効に活用することはできないのか。

○ 新規卒業予定者及び若年者の採用拡大について、県内一万三千企業に要請をした。また、県内企業経営者が参加する県との意見交換会や懇談会など、さまざまな機会をとらえ、若年層の採用を働きかけていく。

県としては、新卒未就業者に対し、基金事業に追加した「地域人材育成事業」を活用した事業の実施を検討していく。

## かずさアカデミアパーク

○ 今回の民事再生申し立てに至った経緯及び再建の見込みについて知事はどう考えるのか。

また、今後どのようにスポンサーが選定されるのか。

○ 県はさまざまな支援を行い、経営健全化を促してきたが、同社より第三次経営改善計画が、平成二十一年六月に提示され、県はその内容の再考を求めた。その後、同社で最終的に民事再生手続きの申立てを決めた。今後、裁判所の関与の下、民間の発想と経営力を備えた会社生まれ変わりを期待する。

スポンサーの選定については、入札形式で選定するとの説明を受けている。県としては、選定に関与し、パークの中核的機能の充実

が図られるよう努め、六月上旬を目途にスポンサー企業を決定する予定である。

○ かずさアカデミアパークに、多額の県税を投入している千葉県として、この地域をどのように活性化していくのか。

○ アクアラインの通行料金値下げや、圏央道の整備により交通アクセスが飛躍的に向上し、かずさアカデミアパークのポテンシャルが大いに発揮できる好機を迎えた。今後、高い技術開発力を持つ企業や研究所の誘致を進め、広域的な交流拠点に発展させ、地域の活性化に取り組んでいく。

## 農業

○ 平成二十年度の農業算出額が全国第二位から三位になった要因を、どうとらえているのか。また、新たな総合計画では第二位奪還に向け、どのようにしていくのか。

○ 本県が茨城県に次ぐ三位となった要因として

- 一 平成二十年度の米の単価が上がり、水田面積が多い茨城県に有利に働いた
- 二 茨城県が鳥インフルエンザから、完全に立ち直った
- 三 茨城県の主要な野菜が高値であった

などが考えられる。新たな総合計画として

- 一 園芸振興のための施設化、力強い産地づくりの推進
- 二 販売額三千万円以上の企業の経営体や、意欲ある担い手の確保・育成
- 三 県産農産物の魅力発信

など、二位奪還に向け、農業者や関係団体と取り組んでいく。

## ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会

○ 開催が間近に迫った中で、両大会の成功に向けた知事の決意はどうか。

また、県は国体の成功に向け会場地市町に対し、今後どのような支援を講じていくのか。

○ 全国から訪れるすべての皆様を、「最高の笑顔」「心のこもったおもてなし」でお迎えし、夢と感動に溢れる素晴らしい大会を実現していく。

県では、会場になる市や町に対し、

- 一 競技大会運営経費に対する助成制度の拡充
- 二 おもてなしや地元の魅力発信に要する経費の一部補助などの支援をする。

## 教育

○ 県は教職員の厚い配置、少人数学級の促進、教育費父母負担の軽減や学校施設及び特別支援教育の充実などで思い切った前進を図るべきと思うがどうか。

○ (仮称)「千葉県教育振興基本計画」では、教職員の負担軽減や少人数学級の促進、意欲ある生徒への修学支援、校舎等の耐震化の推進、特別支援学校分校・分教室等の整備などの取り組みを掲げている。今後は、これらを積極的に推進していく。

## 可決・同意された議案

- ◆平成二十二年予算関係(二十四件)
  - ▽一般会計(二件)
  - ▽特別会計(二十二件)
- ◆平成二十一年度補正予算関係(二十四件)
  - ▽一般会計(二件)
  - ▽特別会計(二十二件)
- ◆条例の制定(五件)
  - ▽千葉県医師修学資金及び看護師修学資金特別貸付条例
  - ▽独立行政法人森林総合研究所農用地整備事業特別徴収金徴収条例
  - ▽千葉県林地開発行為等の適正化に関する条例
  - ▽伊西市、印旛村及び本埜村の合併に伴う関係条例の整備に関する条例
- ◆条例の一部改正(十九件)
  - ▽千葉県職員定数条例
  - ▽職員の給与に関する条例
  - ▽職員の育児休業等に関する条例
  - ▽職員の勤務時間、休暇等に関する条例
  - ▽千葉県特別会計設置条例
  - ▽使用料及び手数料条例
  - ▽千葉県袖ヶ浦福祉センターの設置及び管理に関する条例
  - ▽千葉県自治体病院医師確保研修資金等貸付条例
  - ▽千葉県医師修学資金貸付条例
  - ▽千葉県日本コンベンションセンター国際展示場設置管理条例
  - ▽千葉県東葛テクノプラザ設置管理条例
  - ▽千葉県かずさアカデミアホール設置管理条例
  - ▽千葉県緊急雇用創出事業臨時特別基金条例
  - ▽千葉県立障害者高等技術専門校設置管理条例
  - ▽千葉県立都市公園条例
  - ▽千葉県学校職員定数条例
  - ▽千葉県警察基本条例
  - ▽千葉県水道事業の設置等に関する条例
  - ▽千葉県病院事業の設置等に関する条例
- ◆その他(二十九件)
  - ▽千葉県行政に係る基本的かつ総合的な計画の策定
  - ▽千葉県行政に係る基本的かつ総合的な計画の廃止(二件)
  - ▽市村の廃止(二件)
  - ▽契約の変更

**インターネット中継**  
本会議の様子をインターネットにより、ライブ中継と録画中継で公開しています。録画中継は、当日の本会議等が終わってから2日程度(土・日・祝日を除く)で、ご覧いただけます。千葉県議会ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。  
http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html